

## 第1回福島市都市マスタープラン策定懇談会 会議録

1 日 時 令和8年3月26日(木) 15:00~16:00

2 場 所 福島市市民センター 3階 314会議室A

3 出席者 委員9名

小林 敬一 委員、 須藤 康子 委員、 吾妻 雄二 委員  
佐藤 玲子 委員、 岸波 弘美 委員、 菅原 高志 委員  
笠井 一美 委員、 長島 美侑 委員、 佐藤 大亮 委員

オブザーバー1名

国土交通省 福島河川国道事務所長

4 欠席者 委員2名

村上 早紀子 委員、 菱沼 寿美恵 委員

オブザーバー1名

福島県 県北建設事務所長

5 内 容

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 策定懇談会委員紹介

(4) 会長・副会長の選任

(5) 議事

- 都市マスタープランについて
- 福島市の都市の状況
- 市民アンケート調査の結果について
- 見直しにあたって
- その他

(6) 質疑応答・意見交換

(7) 閉会

6 会議詳細(司会:都市計画課長)

(1) 開会

(2) あいさつ(都市政策部長)

本日は、年度末の大変お忙しい中、御礼申し上げます。

この度は、都市マスタープラン策定懇談会の各委員の皆様、就任をご快諾いただき、本当に

ありがとうございます。

また、本都市計画行政にご理解、ご協力、賜っておりますことに重ねて、感謝を申し上げるところでございます。

皆様のそれぞれ専門的な技術的知見により、また市民としての目線からも、ご指導・ご助言を賜りますよう、よろしくお願いを申し上げます。

さて、本市の都市マスタープランでございますが、概ね 20 年後の、都市の姿を展望し、都市計画に関する基本的な方針として、去る平成 29 年に現在のマスタープランを策定いたしました。

また、「コンパクトプラスネットワーク」の方針のもとに、福島駅東口再開発や東西一体のまちづくり等による、中心市街地の機能強化や、周辺の地域での個性に応じた分野の機能集積による、拠点化を進めてまいりました。

一方で、策定以降、人口減少や少子高齢化の著しい進行、そしてコロナ禍によるライフスタイルの変化やデジタル化の加速など、本市を取り巻く社会情勢や課題は日々変化しております。

これらの変化に対応しながら、「県都ふくしま」として持続的に発展するため、策定から概ね 10 年となる、令和 9 年度を目途に、見直しを行うこととしまして、専門的かつ幅広い分野からのご意見を、この計画に反映させるために、本懇談会を設置したものでございます。

なお、広域的な見地からアドバイスをいただくために、オブザーバーとしまして、国・県の関係者にもご参加をいただいております。

これから 1 年以上にわたりまして、この計画の評価や見直し案の検討等を行って参ります。委員の皆様には、ご多忙とは存じますが、本市が持続的に発展していけるよう、ご協力をお願いいたします。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### (3) 策定懇談会委員紹介

### (4) 会長・副会長の選任

会長に小林敬一委員、副会長に村上早紀子委員を選出

### (5) 議事（説明：都市計画係長）

資料により説明。

### (6) 質疑応答・意見交換

会 長

ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問ご感想等ありましたらご発言願います。今日は最初ですので、事務局から、都市計画マスタープランの概要を御説明いただいて、本市についてもその全体像をご説明いただきました。

皆さんの方から、全般的なご感想であるとか、当市の都市計画についてお考えになられたことを、一言いただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

委 員

人口減少につきましては、日本全体の問題なので、人の取り合いになってしまうことから、観光などの交流人口を増やしていくことが大切であると思います。以上です。

会 長

そうですね。人口減少が進みつつあるということでこれから関係人口に着眼するべきだ、というご意見かと思います。どうもありがとうございます。他にいかがでしょう。

委 員

ラインのアンケート結果などでも結構出てると思うんですか、主に中心市街地活性化ということで、やっぱり人口減少だったりとか、福島に関しては、少子高齢化率は50年後ぐらいにはもう50%ぐらいになる予定ですので、やはりマイカーに頼らない、そういった意味でも、中心市街地を中心としたコンパクトシティが目標なんではないかなと改めて感じました。以上です。

会 長

そうですね。さらに年齢構成を考えると、ますます高齢化が進むであろうということで、それに見合った環境を作っていかななくてはいけないということですね。

委 員

アンケートの43ページ、44ページにあるとおり、よくなったところとして、道路が良くなった、悪くなったところとして、中心市街地が活性化されていないということで、道路がよくなって、人が外に流れていったということなのかなと感じました。コンパクトシティっていうのはどのくらいの範囲をエリアに入れるのかっていうのが難しそうだなと感じました。

また、私6年間宇都宮に住んでいたのですが、路面電車があまりなくて、2両しかないのですがすごく機能している感じがあったので、道路と公共交通機関をうまく抱き合わせていければ、外に行った人も中に入ってきやすいのかなと感じました。

会 長

そうですね。今、宇都宮では路面電車が整備されて、地方都市の公共交通整備の見本のようになっているわけですがけれども、一般の地方都市では、道路ができて、便利にはなったけれども、高齢化は進みますし、中心市街地の活性化が課題になっているわけですから、生活空間の広がりをどうつないでいくかというのは大きな課題であろうと思いました。どうもありがとうございました。

## 委員

私は普段、安達駅前ところで、子供と接する仕事をしているんですが、福島市から来ている親さんもいらっしゃるんです。福島市で子育てをして、何か困ったことがないか話を聞くと、インドアで遊ぶ場所がないというんです。それで、昔は福島市にあったようなんですけど、震災などにより壊れてしまって、そのあと継続して、遊べる場所がないということで、普段、インドアでどこで遊んでいるのかと聞くと、本宮であったり、保原とか伊達で遊んでるって話を聞くんですね。そこで結局遊んだ後、お金を使って帰るということで、福島市に住んでいるのに福島市で遊ばないで、他の地域で遊んで、そこで金を落としてしまっている状況を聞いてちょっともったいないなと思ったんですね。

ちょっとマスタープランとつながるかわからないですけど、福島市で遊べる環境を望んでいる方も多くいらっしゃいますので、ぜひそのような環境があったら嬉しいなと思います。

## 会長

具体的なご指摘でしたけれども、子供の生活環境も変わっておりますし、文化も変わってきておりますので、それに見合った施設整備等の課題というものがあるということかと思えます。ありがとうございました。

## 委員

よろしくをお願いします。私もこのアンケート調査を拝見して、道路は良くなったけれども、人はでも、道路が良くなったから住むのかって言うと、そうじゃない。流れていってしまうんだっていうのは先ほどの委員の方と同じなのですが、そんな結果を見まして、何か魅力のあるというか、引き寄せるような何かがあったらなっていうふうに感じました。

先ほども交流人口の話もあって、今、大ゴッホ展もやっていて、かなりの数の人がいらっしゃっていて、ただ、その人たちが、どこに滞在しているのかっていうところが魅力あるところじゃないのかなと思っていて、なのでせっかく何万人の人が入りましたって言うのが、それがそのまま帰ってしまう。それでそこを何とかしたいなということで、観光としてはそちらに力を入れているんですけども、ただ、先ほどもありましたように、子育てのことでいうと、色んなイベントとかが開催されても、預かり保育ができなくて、出たいんだけど一緒にそこに参加したいんだけどそれが無いっていうのがあって、子育て一生懸命頑張ってます福島市とはいいいながらもちょっと面倒見てもらえるようなシステムをもって、イベントを計画して欲しいなと思います。

少しマスタープランと違うんですけども、基本的なそういうところから、スタートして欲しいなというふうに思っています。

## 会長

はい。どうもありがとうございました。まずは、観光客数は伸びてきたけれども、それをもっと効果的に、まちの活性化につなげていくにはどうしたらいいか、まだまだ課題があるというご指摘かと思いました。

そしてもう一つは、いろいろ機会は生まれたけれども、それを本当に多くの人に提供するためには、ソフトの部分の改善が必要で、そういったものをハード、ソフトのトータルで、どう動かしていくのか、大きな課題があるよ。というご指摘でした。それはマスタープランに全く関係ないわけではないと思います。

#### 委員

高校生・中学生が学校が終わった後に過ごす場所があまりないってということで、今まで、ちょっとしたデパートだったり、ヨーカドーであったりっていうふうなところがあって、そういうふうな、ちょっと寄れるみたいなところもあったんですけども、今はそういうのがなくなって、それが今、猛暑で夏場涼しいところで勉強したいって言ったときに、今の市民センター新しくなりましたので市民センターの1階で勉強してる方とか、学習センターも新しく建て直したところとかは明るくて、多分そういう共用スペースっていうのがすごくたくさんありまして、そういうところで勉強する姿っていうのも、増えてきたっていうふうに思いますが、古い建物だと、どうしても暗いとか、そういう場所が少ないとか、ということで、子供たちが学校の放課後に過ごしたり勉強したり、そういうふうな場所が少ないっていうふうに、話が出ます。そういった子供たちが伸び伸びと学習できる、そういった場所が、それぞれの地区にあって、機能をもう少し充実してもらって、若者が福島って、楽しいよっていうふうに思ってもらえればそのまま定着してもらえんじゃないかなという風に思います。

#### 会長

大変興味深いお話で、福島の場合、大学はすでに外へ出ているわけですけども、中心市街地は、高校まで皆さん過ごされる場所ですし、また多くの学校が集まっているわけですから、そこでの若者をとりまく環境というものが大切だというお話でした。

#### 委員

大変勉強になりました。福島の産業についてですが、観光は少し増えているという話でしたが、農業従事者はずいぶん少なくなってきた。新しい工業団地もまだ埋まっていない部分もある。商業は、駅前がご覧のとおりだし、メインとなる産業を福島市としてどうしていきたいのか。もっと行政と各産業分野が話合うとよいと思う。

また、ある人に聞いた話だが大学を外に出したので、中心市街地がすたれてしまった。やっぱり、福島の大学に行ったんだって言って、思い出はとかないかっていうと、何もない。街中では遊ばないし。今更戻すわけにもいかないが、それがちょっとマイナスだったかなと思う。

それで今、金谷川駅でカーシェアが始まって大学生が利用している。さっきお話あったように何らかのかたちでまちに人を寄せる必要があると思います。よろしくお願いします。

#### 会長

そうですね。コンパクトシティの概念の中にも、ネットワークというものが大事で、郊外に移った機能も、もう一度都心と繋がりを深めるといったプロセスが始まるといいと思います。あり

がとうございました。

## 委員

個人の話ですが、うちの孫が生まれて6か月になるんですね。そのお母さんは産休で仕事を休んでいるんですけども、色んな遊び場に行っていてですね、その見つけ方というのが、すごい素晴らしいなと思っていて、自分が積極的に探さないと見つけられないというのが、もっと市がPRしなければならぬと思う。市でたくさんの観光施設があるのに、PRができてないから、それ知らなかったっていうところが結構あるんですね。

ずいぶん昔に孫が福島に来たときに、宮畑遺跡に連れて行こうと思ったんですが、本当にどうやって行くか分からなかった。看板もないし、今みたいにインターネットもそんなに普及していない時代でしたので連れていくにもずいぶん苦労しました。本当に福島のPRが下手だなと感じました。福島にはもっと素晴らしいところがあるのにそれを知らない。それがすごいもったいないなと感じます。小さなところまでも、やっぱり情報として提供するというのが大切だと思います。

それからあと、大学を金谷川に持っていったっていうところは、どういう都市計画をしたのかな、ちょっと批判になってしまうんですけども。学生さんが他県から来た時に、すごく福島って自然があってすばらしいと、それとあとまちなかと連携しているという風に思っているんじゃないかなと思うんですが山の中にあり、そこでしか生活できないし、アルバイトもするには電車が出てこなければいけない。バスも少ない。それではまちなかに来る学生も少なくなってしまうと思います。やはりまちなかに大学があると非常に活性化したいと思います。あそこに大学を持ってきたのであれば、大学周辺をもっと活性化させなければいけないなと感じます。なので早期に13号バイパスの南伸を進めてもらい、金谷川周辺で店舗ができると活性化したいと思います。

こんな言い方をすると大変失礼かもしれませんが都市計画でただ線引きをしているだけでは、ちょっと問題があると感じます。それだけで終わってしまう都市計画では意味がないと思います。

あと、私は車をよく運転しますが、道路が狭く、でこぼこのところが多いように感じます。また、道路の白線がすれて消えかかっているところも多く、道路の周辺は雑草が生い茂っている。当会にホテル業界の方がいらっしゃいますが、その方にも福島はまず道路が汚いと言われました。それは前から分かっていたのですが、お金の問題もあると思いますが、国道・県道・市道と管理者が変わるから一概にできないかもしれませんが、私たち市民は、自分の道の前くらいは除草くらいはできるんじゃないかと思うんです。お金がないところでは、市民に対して協力を要請するとか、そういうふうなかたちをとってもよいのではないかと思います。年間町内の清掃がありますが限られた場所でしか実施していないんですね。市内で6月に一斉清掃がありますがどうかたちで実施しているか分からないですが、市民に問いかけて街をきれいにしていくことが大事だと思います。街をきれいにすることで外から来た人がきれいな街だなと思ってもらえると思います。来月から自転車の罰則がはじまりますが、自転車道路がない場所も多くあり、安全性が失われていると感じます。

色々挙げるときりがありませんがそう感じているところです。

## 会 長

どうもありがとうございます。世の中、大変なことがいっぱいあって、問題は錯綜してるわけですが、都市計画にできる範囲は限られています。ただ特に、最初にお話されたように、最近、デジタル空間がどんどん広がって、我々の生活自体が変わってきてるわけです。

ですからそのデジタル空間と、このリアルな空間と、今後どう結び付けていくか、これからの課題だと思います。そういったことも考えながら、まちづくりを進めていく必要があるかと思っています。

それともう1つ弁解しておきますと、大学が郊外に出たのは、決して都市側の要請だけでもないのです。大学、特に近代科学は、装置型の学問になりまして、非常に大きなスペースであるとか実験施設であるとかを必要とするようになりまして、全国各地で大学が郊外に移っていきました。そういう時代であったわけですね。しかし先ほど皆さん方からお話があったように、もう一度その郊外の活動と中心部の活動とどうつないでいくか、コンパクトシティ構想の中にありますネットワークという概念に込められている課題かと思われまします。そういった観点も今後検討していければと思います。

最後になりましたが、私の方からは、感想なのですが、都市マスタープランの冊子を読ませていただきまして、それは10年前の計画でして、今回がその目標年次の真ん中で見直しをするということになるわけですが、そこには結構いいことがいっぱい書かれており、方向性としては今でも通じる部分もあります。そういったものをベースにしまして、できているところとできていないところを見直しながら今後具体的に修正点を議論していければよいかなと思います。

他に何か皆さんの方からご意見等ありますでしょうか。

## 委 員

一点よろしいでしょうか。福島市総合計画っていうのもありますよね。これと都市マスタープランはどういう風に整合していくわけですか。

## 会 長

事務局お願いします。

## 事務局

現在策定中の総合計画については、今年度、若干見直しをするということになっておりますので、それに即した形で、今回の都市マスタープランの方は進めていきたいというふうに考えております。

## 委 員

都市マスタープランについては、概ね20年後の目標としているわけですが、非常によいスパンかなという風に思います。なぜかという、20年後に団塊の世代がいなくなるわけで、そのときにどうするかまでのことなので、よいところに焦点を絞って始まったと思います。これからどんどん車社会でもなくなるし、イオンなんて伊達に作って誰が買いに行くのかなと個人的

に思うわけですよ。車で来る人もどんどんいなくなるわけなので。私は大笹生道の駅も反対でした。本当に団塊の世代の一番人口が多いところが、いなくなるということで、今後考えていけないと感じるところです。

会 長

そうですね。人口予測はきちんとやって、ある年齢層が抜ける部分があるとしたらどのあたりからかということも、ちゃんと計算して、計画づくりをやることになろうかと思います。どうもありがとうございました。

委 員

これは希望になるのですが 31 ページです。市の財政状況なのですが、道路とか水道などのインフラ設備の土木費はもう少し予算をつけるべきではないかなと思います。

会 長

どうもありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいですか。

今日は最初ですので、まずは、都市計画マスタープランというものをご理解いただくのと、福島市の現状をご理解いただき、これから来年度、何回か議論してまいりたいと思います。よろしくをお願いします。

それでは、以上で、議長の任を解かせていただきます。どうもありがとうございました。

(7) 閉会

事務局連絡 第2回懇談会開催を5月下旬ごろに予定